

令和5年度大学院入学試験事前課題  
(後期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

## 問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

### ◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』によると、「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するためには、生活や社会の中の音や音楽の働きの視点から、児童が学んでいること、学んだことを自覚できるようにしていくことが大切である。」\*と解説している。

このような自覚はどのような学習活動によって意味のあるものとなるか。具体的な指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

\*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』東洋館出版社、p.11

### ◎ 声楽

シューベルト作曲の歌曲「魔王（Erlkönig）」をあなたはどのように歌唱するか。曲の特徴をあげ、その特徴と関連させてあなたの考えを述べなさい。

### ◎ 器楽

楽器を一つあげて、その楽器を初学者に指導する場面で特に留意すべきこと3点について述べなさい。想定する指導場面は、必ずしも音楽科の授業に限らなくてよいものとする。

### ◎ 作曲

小学校の音楽の授業の中でグループで音楽づくりをしている時、試行錯誤の過程でどのようなことが起きるか想定しながら、留意することを書きなさい。その際、必ず音楽的な側面を重視すること。

### ◎ 音楽学

平成28年12月の中央教育審議会答申では、学校で日本の伝統音楽や諸外国の音楽を学ぶことの意味について、「グローバル化する社会の中で、子供たちには（…）日本文化を理解して継承したり、異文化を理解し多様な人々と協働したりできるようになることが求められている。このため、音楽に関する伝統や文化を尊重し、実感的な理解を深めていくことが重要である」\*と示されている。

このことに関して、日本の伝統音楽や諸外国の音楽に関する「実感的な理解」とはどのようなものであり、それを深めるためには、どのような授業を、どのような手立てを用いて展開すればよいか。具体例をあげて、あなたの考えを述べなさい。

\*「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」、p.164